

自社の組織・職場の課題解決を
半年間の講義・ゼミ・実践で進める
静大発・新しい人材育成講座、開講。

個人と組織のウェルビーイングを 高める人材育成プログラム

2025年度 受講者募集パンフレット



国立大学法人

静岡大学

サステナビリティセンター

組織・職場の課題解決を進める人材育成を、静大とともに始めませんか？

個人の自己実現や成長を大切にしながら組織の成長も実現したいが、何を、どのように進めていいかわからない。

組織の問題を探究し、原因に迫りたい。

組織が内側から変わり、社員も元気になるような職場づくりを進めたい。

このような声を経営者・人事担当者の方から伺ってきました。組織の持続可能性を考える際、大切なのは、こういった課題を外部が解決するのではなく、**組織内で解決できる人材を育成すること**にあると私たちは考えています。

そこで私たち静岡大学サステナビリティセンターでは、近年重要視されている「ウェルビーイング」に着目し、個人と組織の両方のサステナビリティを高めることを目的とした、新しい人材育成プログラムを開講します。静大の持っている知見やネットワークを生かしつつ、組織・職場の課題解決を自ら解決できる力を育むことを目的とした、全く新しい伴走型プログラムです。

個人と組織のウェルビーイングを高めるための人材育成プログラム

本プログラムでは、ウェルビーイングをはじめ、個人と組織を取り巻く問題を研究・実践する講師による講義・グループワークに加えて、受講者同士が学び合い、磨き合うゼミも同時に開講します。また、受講者が自身の組織・職場の課題をテーマにした調査やトライアルの実践を行い、学びの質を高めながら、組織・職場のコミュニティの変革を支援します。

修了後は、組織を変えていくリーダー人材として活躍することはもちろん、学びのコミュニティを他の修了生とともに生み出していくことも期待されています。



専門家による講義と
グループワーク

全5回

ウェルビーイング、コミュニティ変革、従業員定着、レジリエンス、調査法など、受講者が持ち込む課題解決を実践するために必要な知識や方法を、静岡大学教員や外部講師から学びます。受講期間中、講義内容は何度も試聴が可能となります。



同期と学び合い、
磨き合うゼミナール

全6回

コーディネーター教員と共に、各自の実践の現状や方向性を共有・議論する定期的なゼミを通じて、課題や手応えなどを共有知化することで、実践をより良い方向に進めていきます。

全11回の講義・ゼミで個人と組織のウェルビーイングを高めるスキルを身に付けます！



国立大学法人

静岡大学 で学んで

組織・職場で実践！



リアルな課題解決の実践、
そしてコミュニティの変革へ

受講者自らが所属企業の課題解決を実際に進めることで、個人と組織のウェルビーイングを高める人材を育成するとともに、コミュニティの変革を支援していきます。



組織を変える
リーダー人材の育成

修了した人材がそれぞれの所属組織の未来を変えていく、個人と組織のウェルビーイングを高めていくようなリーダー人材として活躍することを目指します。

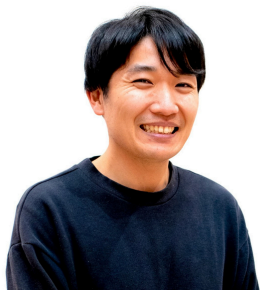


修了生後もつながる
学びのコミュニティ

リーダーが一人で悩むことなく、今後も高め合っていけるように、受講者同士が修了後もつながる学びのコミュニティとして、ネットワークを継続します。定期的なコミュニケーションをサステナビリティセンターとして促進します。

講義紹介と講義日程・開講方法

講義は全5回開講します。ハイブリッド講義と対面講義の会場は、静岡大学静岡キャンパスになります。オンラインの参加の回は、好きな場所からそれぞれご参加ください。



第1回 10/8(水)13:30-15:30

コミュニティを変革するプロジェクトの育て方

ハイブリッド講義

担当 天野浩史（静岡大学サステナビリティセンター特任准教授、全体コーディネーター）

静岡大学大学院人文社会科学部臨床人間科学専攻修了。修士（臨床人間科学）
専門は臨床社会学、コミュニティデザイン論、地域人材育成論。
大学入学と同時に環境保全NPOで活動を開始。大学4年時に中間支援組織を仲間たちと立ち上げ、以来静岡県内のまちづくりの実践、アクションリサーチに従事。

第2回 10/20(月)13:30-15:30

多様性を活かして企業価値向上につなげる 深化型健康経営＝ウェルビーイング経営

オンライン講義

担当 森本真弘（MS&ADインターリスク総研株式会社主席コンサルタント）

MS&ADインターリスク総研株式会社リスクコンサルティング本部企画室部長、主席コンサルタント。ウェルビーイング経営・健康経営に取り組む企業向けのアドバイス・情報提供に従事。一般社団法人社会的健康戦略研究所理事、BipojiLab設立メンバーも務める。日経Well-Being InitiativeにもMS&ADグループを代表して参加。健康経営エキスパートアドバイザー

第3回 11/14(金)13:30-15:30

フィールドワーカー視点から見る従業員定着問題

ハイブリッド講義

担当 荻野達史（静岡大学人文社会科学部教授・人口動態と就労環境研究所所長）

東京都立大学社会学研究科博士課程単位取得退学。修士（社会学）
専門は社会学、青少年期問題、メンタルヘルス。
寝泊まり調査に明け暮れた青年期問題（ひきこもり）に関する研究とともに、職場のメンタルヘルスをめぐる社会学的研究や、静岡地域の企業と若年労働者についての調査研究を実施中。

第4回 11/27(木)13:30-15:30

ウェルビーイングを可視化する方法

ハイブリッド講義

担当 鈴木ミユキ（菊川市産業支援センター長／元デジタル庁参事官補佐）

静岡県菊川市建設経済部参事兼産業支援センター長。デジタル庁ウェルビーイングファシリテーター。2025年3月まで3年間デジタル庁に出向し地域幸福度（Well-Being）指標を担当。デジタル庁に出向して間もなく駅で転倒し、骨折するもがんばって業務に邁進。菊川市では土木から児童福祉、市民協働、商業観光などを担当。ここ数年は血迷って大学院に入学し情報学を専攻。現役公務員＆大学院生という二刀流に挑戦中。

第5回 12/8(月)10:00-12:00

レジリエンスの理論

対面講義

担当 小林朋子（静岡大学教育学部教授／こどもレジリエンス研究所所長）

筑波大学大学院人間総合科学研究科博士課程修了。博士（教育学）
公認心理師、臨床心理士、学校心理士SV。専門は学校心理学、学校臨床心理学。
国内外の被災地に派遣された経験もふまえ、VUCA時代でもしなやかに生きるための子どもや大人向けのレジリエンスプログラムを研究、実践している。また少子高齢化が進む地域での子どもたちへの支援にも関心があり、地域の人たちとのクリエイティブな活動を展開したいと考えている。

講義に加えて、受講者の課題解決を進めるゼミナール（各回2時間）を6回実施します（日程は受講者と調整します）

プログラムの基本情報について

開講方法 対面、オンライン、ハイブリッド

会 場 静岡大学静岡キャンパス（静岡市駿河区大谷836）

受講料 70,000円（税込）

定 員 15名 **募集締切** 2025年9月26日（金）

開講期間 2025年10月8日（水）～2026年2月27日（金）（全11回）

受講対象者 自身が所属する組織と個人の関係に対して問題意識を持ち、ウェルビーイングという観点からより良い変革を生み出したいと考えている方。

プログラム 【1】全5回の専門家による講義の参加（講義動画は受講期間中は繰り返し視聴が可能）
【2】全6回の受講者同士で学び合い、磨き合うゼミナールへの参加（ハイブリッド開講）
【3】講義・ゼミナールでの学びを活かした所属組織における課題解決の実践

修了要件 講座・ゼミでの学びを活かし、所属組織における課題解決の実践に関するレポートを提出した方に修了証書を発行いたします。

受講にあたっての注意事項

- ・最少開講人数（7名）に達しない場合、本講座は不開講となります。あらかじめご了承ください。
- ・講座・ゼミともに平日日中での開講を予定しております。開講日程に合わせて、各社・職場内にて受講いただけるようにご調整をお願いいたします。
- ・欠席した回については、録画・撮影した動画を送りいたしますので、後日視聴ください。
- ・各講義の後は、学びの振り返りを兼ねた簡単なアンケートを送付いたしますので、回答をお願いいたします。
- ・2026年1月～2月ごろに今後のプログラム改善のため、受講者と個別面談を実施いたします。近くなりましたら個別で日程調整いたしますので、ご協力をお願いいたします。
- ・ゼミナールを、全ての受講者が参加する形で開催できない可能性があります。その場合でも、全ての受講者をサポートできるように、個別で調整をいたします。

受講申し込み・お問い合わせ

右のQRコード、もしくは静岡大学サステナビリティセンターホームページ
（https://www.sdgs.shizuoka.ac.jp/initiatives/reskill_wellbeing/）よりお申し込みください。受講料の納入方法については、開講が決定した後に、お申し込みいただいたメールアドレスにご連絡いたします。
お問い合わせは下記メールアドレス、もしくは電話番号まで、ご連絡ください。

メールアドレス | ceps_reskill@adb.shizuoka.ac.jp

電話番号 | 054-238-4377 [平日9:00～17:00]

（事務局：静岡大学サステナビリティセンター）



国立大学法人

静岡大学

サステナビリティセンターについて

静岡大学サステナビリティセンターは、静岡県恵まれた自然環境を保護し、活用しながら、将来世代を含めた一人ひとりの人間らしい生が保障される社会実現への貢献をミッションにしており、SDGsの達成や地域社会のサステナビリティを高めるための情報発信や連携コーディネートを行っています。